

平成22年（2010）2月24日（水）・25日（木）

平成21年度（2009）

第5回出雲市議会（定例会）

施政方針質問通告一覧表

平成21年度（2009）第5回出雲市議会（定例会）施政方針質問通告一覧表 目次

2月24日（水） 10:00開会				2月25日（木） 10:00開会			
順番	会派名	議員氏名	ページ	順番	会派名	議員氏名	ページ
1	真誠クラブ	川上幸博	1～2	1	平成クラブ	宮本 享	8～9
2	雲州クラブ	西村 亮	2～3	2	河南クラブ	山根 貞守	9～10
3	市民・新生クラブ	米山 広志	3	3	清風会	高野 成俊	11～12
4	大社クラブ	長廻 利行	4	4	市民新風会	多久和 康司	12～15
5	日本共産党	大國 陽介	4～6	5	公明党	勝部 順子	15～16
6	政雲クラブ	板倉 明弘	7～8				

平成21年度（2009）第5回出雲市議会（定例会）施政方針質問通告

質問者		14 真誠クラブ 川上幸博	
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 市政の基本方針について	<p>1. 市長1年目を振り返り、2年目を迎えられる市政運営に対する考え方を伺う。</p> <p>2. 自治基本条例の実効性のある条例とは、どのような仕組みなのか。また、市民との連携体制は、どのようにされるのか具体策を伺う。</p> <p>3. 財政の健全化について</p> <p>①中期財政計画に基づき、22年度予算の編成が行なわれたと思うが、予算編成にあたり、長岡市長としての特色は、どのような分野で、どのような形で反映されているのか具体策を伺う。</p> <p>②少子高齢化が進み、今後社会保障費などが増大していくと見込まれる中、今後の地方債残高、実質公債比率などの財政計画を伺う。</p> <p>4. 産業振興について</p> <p>①緊急経済対策を積極的に行なうとあるが、具体的に示して頂きたい。</p> <p>②以前、デザインなどの専門学校誘致を検討されていたが、今年は、看護系の専門学校の誘致をとあるが、両方とも誘致されるのか、又は、どちらかの誘致なのか伺う。</p>	市長	
2. 出雲神話観光大国の創造について	<p>1. 大社門前町の整備手法をうかがう。</p> <p>2. 市内観光地が、各地域に点在しているが、その観光地を、出雲大社と絡め滞在時間の長期化をどのような手法で行なうのか具体例を挙げ考えを伺う。</p> <p>3. 出雲観光への観光リピーター誘致策は、どのように行なうのか伺う。</p>	市長	
3. 都市・交流拠点の創造	<p>1. 市としての下記について今後の進め方を伺う。</p> <p>①第1次幹線市道整備10か年計画に基づく28路線の道路改良</p> <p>②生活環境道路改善事業及び生活環境下水路整備事業</p>	市長	

4. 環境先進都市の創造	<p>1. 県河川及び市河川の改修整備を推進し内水排除により、安全な町づくりになると考えるが、市の今後の対応をうかがう。</p> <p>2. 「トキ分散飼育センター（仮称）」の建設が始まったが、トキを環境のシンボルとした、環境に優しい町づくりの具体策と市民へのPRを行い意識向上策は、どのように行なわれるのか伺う。</p>	市長	
5. 人材育成都市の創造	<p>1. 地域学校運営理事会が、出雲市内の学校に設置され、丸3年が経過しました。設置前と4年目を迎えるにあたりどのような変化が、学校、家庭、地域に生まれてきたのか伺う。また今後、運営理事会に求められるものがあれば教えていただきたい。</p> <p>2. 体験学習を通した「心の教育」および「生命を考える教育」の推進が言われているが、誰が、どのようにするのか、財政的な裏づけについて具体策を伺う。</p>	市長	

5 雲州クラブ 西村 亮			
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲ブランド実現に向けた取り組み	<p>1. 出雲杜氏による酒造り技術のブランド化 酒造り技術者（技術の向上）の育成を実現 酒造り技術の向上により品質の高い清酒を製造、出雲ブランドとして定着を図る。</p> <p>2. 日本酒の消費拡大と雇用対策 原料米生産や雇用拡大実現し産業振興、地域の活性化を図る。 飲酒は悪い印象が優先、消費が低迷しているが、日本酒は日本文化の原点であり、出雲神話観光大国のシンボルであります。</p>	市長	
2. 出雲神話観光施策	<p>出雲大社の正遷宮、RAILWAYS、観光資源の活用 出雲大社、日御碕参拝、山岸旅館、ワイナリー、風車、風車公園、一畑電車、木綿街道、一畑薬師、鱒淵寺、一式飾り、日本酒の試飲利き酒コーナー</p>	市長	

3. 出雲市の各支所、消防署の改築計画	1. 各支所の改築計画 平田支所、大社支所 2. 消防署の改築計画 平田消防署、大社消防署	市長	
---------------------	--	----	--

質問者	24 市民・新生クラブ 米山広志
-----	------------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 新エネルギー	1. 新出雲風力発電事業 2. 出雲バイオマスエネルギープラント 3. 廃食油によるBDF製造施設 4. キララトゥーリマキ風力発電所 事業費と実績	市長	
2. トキ分散飼育センター（仮称）整備事業	1. 地元住民への周知、啓発 2. 学習コーナーの建設予定地の土地所有者と来場者の駐車場 3. NPOなどへの協力があるが、その内容 4. 新たに近似種観察ケージがなぜ必要か。	市長	
3. 斐川町との合併	1. 法定合併協議会の設置が今なぜ必要か。 2. 消防救急業務の受委託について、斐川町から相談・依頼があったか。	市長	
4. 支所機能のあり方	1. 支所機能のあり方、職員配置。 2. 本庁に各地域のまちづくり等を支援する担当職員を置くとのことだが、事業費・役割・配置人数と住民サービス向上。	市長	

質 問 者	30 大社クラブ 長 廻 利 行
-------	------------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 出雲神話観光大国の創造	1. 映画「RAILWAYS」の上映や平成25年の出雲大社正遷宮を千載一遇のチャンスと捉えて、観光客の誘致を図るとあるが、具体的な施策について伺う。 2. 県事業である大社門前町のメインストリート「神門通り」の整備と勢溜周辺の歩道整備について伺う。	市 長	
2. 人材育成都市の創造	1. 集落支援について、高齢化が進み地域共同体としての機能が困難になっている地域に「集落支援員」を配置し、また、企業や団体等のボランティアによる「集落応援隊」を導入するとあるが、具体的にはどういうことか。	市 長	

質 問 者	7 日本共産党 大 国 陽 介
-------	-----------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 施政方針策定にあたっての市長の政治姿勢について	1. 市民のくらしの実態をどう認識しているか。 施政方針では「すべての市民が夢と希望を持てる五つ星の出雲市の実現をめざす」とされているが、市民のくらしの実態についての認識が語られておらず現状の分析が欠落している。市民のくらしの実態をどのように認識しているのか伺う。 2. 市民の負担軽減に向けた市長の決意を伺う。 「活気に満ちた豊かな出雲市の実現」とのことであるが、底抜けの不況の中、市民のくらしは限界に来ている。これ以上の負担増に耐えきれないことは明らかであり、国保料や上下水道料の値上げはすべきではない。市民の負担軽減に向け、市の果たすべき役割は極めて重要であると同時に、市民のくらしと福祉を守るべき自治体としての姿勢が大きく問われている。市民の負担軽減に向けた市長の決意を伺う。	市 長	

<p>2. 「財政の健全化」について</p>	<p>1. 「危機的な財政状況」の原因は何か。具体的に示されたい。 昨年11月に発表された「出雲市の財政見通し」では、本市の財政状況について「危機的な状況」との分析が行なわれ、原因について合併以来の「集中投資」が原因の一つとされている。合併以前も含め、過大な公共事業を進めてきたことがその原因と考えるが、いかがか。その具体的な原因を明らかにされたい。</p> <p>2. 「財政健全化」は市民の暮らしと福祉を守る立場で実施を。 施政方針では「聖域を設けず抜本的に見つめ直し」「すべての事業についてゼロベースを基本に、市民の目線に立った真に必要な事業を予算化する」と述べられたが、「危機的な財政状況」のツケを市民に転嫁するようなことはあってはならない。市民の暮らしや福祉の分野での行政サービスの後退は避けなければならないし、負担増を強いるようでは本末転倒である。財政健全化は市民の暮らしを守る立場で行なうべきであると考え、いかがか。</p>	<p>市長</p>	
<p>3. 「国民健康保険事業」について</p>	<p>1. 高すぎる保険料は引き下げを 保険料の負担は限界を超えており、安易に負担増を求めることは市民の暮らしに大きな影響を与えることになる。国庫負担の引き上げを求めるとともに、値下げに向けた市独自の手だてを求めるが、いかがか。</p> <p>2. 短期証、資格証の発行は中止を 医療を受ける権利を奪う「短期証」「資格証」の発行は直ちに中止されたい。</p> <p>3. 子どもの無保険は直ちに解消を 少なくとも18歳未満までの子どもに対しては正規の保険証を無条件に交付すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>4. 保険料の減免制度の拡充と周知徹底を 「非自発的離職者減免」など、独自に制度を設けていることで市民の負担軽減につながっている。保険料減免制度のさらなる拡充と周知徹底を求めるが、いかがか。</p> <p>5. 国保法44条に基づく一部負担金減免制度の一日も早い実施を 実効ある制度となることを求めるとともに、現段階での検討状況を伺う。</p>	<p>市長</p>	

<p>4. 「中小企業対策」「雇用対策」について</p>	<p>1. 「中小企業対策」「雇用対策」の一層の充実をもとめる 公共事業の削減や低迷する景気のもと、中小業者の仕事確保は緊急の課題であり、抜本的な雇用対策が求められている。現状認識と対策を伺う。</p> <p>2. 「公契約条例」の制定を求める 公共工事や公共サービスを発注する公的機関（市）と受注した事業者との間で結ばれる契約に、生活できる賃金など人間らしく働くことのできる条件を確保することを定める条例（公契約条例）を制定することを提案するが、いかがか。</p>	<p>市 長</p>	
<p>5. 「農林水産業の振興」について</p>	<p>1. 日米F T A（自由貿易協定）について反対の意思表示を 農産物の輸入が増え、米価の下落が続き多くの農家経営は存続の危機に瀕している。日米F T A（自由貿易協定）は、例外なしに関税ゼロをめざす関税撤廃交渉であり、さらなる農産物の輸入自由化は日本農業を崩壊に導くものである。日米F T A交渉の促進を新政権が志向する中、農業を守り育てる観点から、本市はこれに反対すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>2. 戸別所得補償制度について 「戸別所得補償モデル事業」は、生産目標数量に基づいて米を生産する農家を対象に「標準的販売価格」との差額を全国一律で補填するというもので、定額部分の交付単価を全国一律に10アールあたり1万5,000円に設定している。これでは中山間地などの条件不利地域が切り捨てられるなど不十分な事業であると考えているが、所見を伺う。</p> <p>3. 林業振興について 「林産、木材流通、利用に至る現状と課題を検証」し、「出雲産木材の活用方策を多面的に検討」するとのことであるが、林業3F事業の充実はもとより、地元産材の一層の普及のためのさらなる検討を求める。 例えば、学校で使用する机やイスを地元産の製品に切り替えることや、新築のみならずリフォームについても地元産材を使用した場合は助成の対象に加えるなどいかがか、所見を伺う。</p>	<p>市 長</p>	

質 問 者	21 政雲クラブ 板倉明弘
-------	---------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 市政における基本方針について	<p>1. 住民参加型システムの構築について</p> <p>①市長面会日や市長ポストの活用、要望や陳情内容の速やかな公表、徹底した情報公開・情報開示から得た教訓があれば伺いたい。</p> <p>②町内会・自治会への加入率が毎年下がる傾向にある。加入世帯を増やす方策を伺う。</p> <p>③自治基本条例の制定が、加入率向上に繋がるのか、見解を伺う。</p> <p>2. 財政の健全化について</p> <p>①ゼロベース評価委員会（仮称）の組織規模、仕事内容、権限と開催の公開性、時期、期間を伺う。</p> <p>3. 産業の振興について</p> <p>①出雲を応援していただける企業、経済人とネットワークづくりを進め、各地に「出雲の応援団」をつくとあるが、具体的な地域と活動内容を伺う。</p> <p>②看護系専門学校の誘致に取り組むとあるが、相手先は絞られているのか伺う。</p>	市長	
2. 都市・交流拠点の創造の中から用途地域の見直しについて	<p>用途地域の見直しについて</p> <p>①用途地域見直しの予定地域と面積を伺う。</p> <p>②見直し予定地域への都市計画税課税についての見解を伺う。</p> <p>③平田・大社地区の用途地域の都市計画税非課税措置についての見解を伺う。</p>	市長	
3. 環境先進都市の創造の中から斐川町との消防救急業務の受委託について	<p>斐川町との消防救急業務の受委託について</p> <p>①早急に具体的な方針を検討するとあるが、その内容について伺う。</p> <p>②平成20年3月19日に締結した協定書の第2条「受委託期間は、本協定施行の日から起算して3年以内の期間に限るものとする」との内容についての所見を伺う。</p>	市長	

4. 人材育成都市の創造の中から学校教育の充実について	<p>学校教育の充実について</p> <p>①「心の教育」「生命を考える教育」の実施内容を伺う。</p> <p>②「赤ちゃん登校日授業」を取り入れる考えはないのか、伺う。</p>	市 長	
5. 健康文化都市の創造の中から総合医療センターの運営形態について	<p>総合医療センターの運営形態について</p> <p>①非公務員型の地方独立行政法人化に対する医師・看護師など医療従事者、事務職員の不安要因は何か。</p> <p>②このような運営形態に対する見解を伺う。</p>	市 長	

質 問 者	26 平成クラブ 宮 本 享
-------	----------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 出雲の真のブランド化に向けた取組みについて	<p>1. 新年度は、出雲の真のブランド化に向けた取組みをより見える形で進めていきたいと考え、具体的な取組みの方向性として、「出雲の魅力を発掘し再認識する取組み」、「出雲の魅力を磨き高める取組み」、「出雲の魅力を市内外に発信する取組み」、などを基本に検討してきたとあるが、その「出雲の魅力」とは具体的にどのようなものが想定されるのか。(どのようなものが候補として挙げられているか)</p> <p>2. 新年度には市民による検討組織を立ち上げ具体的な提案をいただき、自ら実践につなげていただく仕組みづくりを進め、可能なものから実施していきたいとあるが、イメージがわからないので、具体的な例(仮定)を示しながら分かりやすく説明願いたい。</p> <p>3. 「市民による検討組織」とは、どのようなメンバーで構成されるのか。</p>	市 長	
2. 外部監査制度について	<p>1. 新年度は更に外部監査制度を導入する準備を進めていくとあるが現在、議会選出を含め、3人に拡充された監査委員による監査が行なわれている中、あえて外部監査制度を導入しなければいけない理由は何か。(現在の監査体制に問題があるのか)</p> <p>2. 外部監査制度を導入した場合、経費はどれくらいかかるのか。</p>	市 長	

3. ゼロベース評価について	<p>1. 平成22年度当初予算編成作業と並行して行なった予算担当課における一次評価及び「ゼロベース評価プロジェクト会議」の二次評価において、直ちに実施可能なものについて当初予算案に反映させたところがあるが、その主な内容は何か。</p> <p>2. ゼロベース評価委員会（仮称）に検証・評価をしてもらう事業とはどのような事業を指しているか。</p>	市長	
4. 専門学校や各種学校等の誘致について	<p>1. 看護師不足解消と若者の定住をめざし、看護系専門学校の誘致に取り組んでいくとあるが、専門学校を卒業した者が総合医療センターをはじめ、市内の医療機関へ即戦力として就職してもらえる流れができれば非常に有効であると考え。目指している学校の規模（学生数）と誘致場所について伺う。</p>	市長	
5. トキ分散飼育センター（仮称）について	<p>1. 国際保護鳥トキの分散飼育の開始に向けて、「トキ分散飼育センター（仮称）」の建設が着手されたところであるが、環境先進都市を標榜し、指定に向けて費やしてきたこれまでの努力を考えると、この事業の持つ重要性を市民に十分浸透させることが必要である。今後の戦略について伺う。</p> <p>2. ハード面だけでなく、トキに関わるソフト事業を充実させることにより、トキをシンボルとした、人と自然が共生できる、環境にやさしいまちづくりが実現すると考える。今後のソフト事業の展望について伺う。</p> <p>3. 運営費に係る国・県からの支援の見通しはどうなっているか。</p>	市長	

質問者	10 河南クラブ 山根貞守
-----	---------------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 看護系専門学校の誘致について	<p>新年度は、看護師不足解消と若者の定住を目指し看護系専門学校を誘致するとあるが、開校年度の目標、学校の規模、誘致をする場所について伺う。</p>	市長	
2. 財政の健全化について	<p>1. 外部監査制度について 外部監査制度導入について、新年度中の条例制定に向けて準備を行うとあるが、今の監査体制のどこに問題があり、外部監査制度導</p>	市長	

	<p>入をされるのか伺う。</p> <p>2. 事業仕分けの視点も含んだ「ゼロベース評価委員会（仮称）」について</p> <p>現在予算編成にあたっては、市内部の担当部局の職員によって「ゼロベース評価プロジェクト会議」において評価がされてきていたが、新年度からは有識者や市民からの公募委員も含んだ「ゼロベース評価委員会（仮称）」を設置するとあるが、具体的にはいつどのような方法で行われるのか伺う。</p>		
3. 林業の振興について	<p>林産、木材流通、利用に至る現状と課題を検証し、出雲産材の活用方策を多面的に検討するとあるが、具体的な取り組みの計画を伺う。</p>	市 長	
4. 集落支援員について	<p>新年度から高齢化が進み、地域共同体としての機能維持が困難な地域に「集落支援員」を配置するとあるが、具体的にどこの地域に配置されるのか、配置基準や支援員の勤務状況はどのようにされるのか伺う。</p>	市 長	
5. 出雲総合医療センターについて	<p>出雲総合医療センターが平成22年度に完成し、運用開始にあたり、がん診療における最新の医療機器であると言われていています「PET-CT」が導入される事となっていますが、この機器の性能と実績を伺う。</p>	市 長	
6. 斐川町との合併について	<p>斐川町との合併については、斐川町民の発議により法定合併協議会設置に向けた手続きがなされ、これを受け今議会に法定合併協議会の設置に関する議案が上程されていますが、市長は従来より東の扉は常に開けておくと言う姿勢は私も同感であります。斐川町から受託をしているそれぞれの事業について、合併と切り離して協議すべきとの対応で来た所ですが、今日までの斐川町の取り組みを見ますときに、はたしていつまでも切り離して協議すべきか、今回の斐川町からの出雲市に対しての、法定合併協議会の設置の要請があったならば、今後は斐川町民、出雲市民に「し尿、生ゴミ、下水道、消防・救急業務などについてもはっきりとわかるように、合併協議と並行して双方の民間の方も参画して行うべきと考えるが市長の見解を伺う。</p>	市 長	

質問者	17 清風会 高野成俊
-----	-------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 所信表明から	<p>1. 開かれた市政の実現をめざした住民参加型システムの導入について</p> <p>①開かれた市政運営のために市長就任後導入された市長面会日や市長ポストの活用、充実をはかるとされているが、本年度行われた結果、行政にどのように反映されたのか伺う。</p> <p>②ゼロベース評価委員会の委員として有識者とはどのような方を想定されているのか。</p> <p>2. 農林水産業について</p> <p>戸別所得補償制度の導入により、これまでの関係者の努力による地域の取り組みが後退しないようにとあるが、懸念されることとして、どのようなことが考えられるのか。</p>	市長	
2. 産業都市の創造から 中小企業対策について	<p>1. 中小企業対策について</p> <p>昨今の厳しい経済状況の中で、企業に対し、資金援助、信用保証料の補助も有効な施策と考えるが、人材の育成も重要な施策と考える。建築士や技能士など国家検定取得には、技術の習得、受験など多額の費用がかかり、景気の良い時代は会社も受験費用や講習費など援助もできていたが、昨今の経済状況のもとでは企業も余力がなくなってきた。市内企業の従業員の技術が上がる事により、生産性の向上や新商品開発などメリットがある。活力ある市内企業を育てる事につながる為の市の資格取得補助制度の導入について見解を伺う。</p> <p>2. 林業について</p> <p>18年の豪雨災害、21年の豪雪、水害により、山が荒れ果てている。環境の面からも森林再生への市長の考えを伺う。</p>	市長	
3. 都市交流拠点の創造 から	<p>1. 広域交通網の整備について</p> <p>山陰自動車道斐川～出雲間でのスマートインターチェンジの建設についての市長の考えを伺う。</p> <p>2. 公共交通ネットワークについて</p>	市長	

	バス交通システムについて、合併後の各地区では、地域の実情に合わせたバスの運行が図られているが、少子高齢化、人口減少化が進む中で、更なる利用率の向上やサービスの面から今後検討される考えはないか伺う。		
4. 環境先進都市の創造から	1. 市営住宅について 2 2年度から市営住宅は島根県住宅供給公社へ管理を委託されます。入居者の選定については、抽選ということであるが、困窮者や障がい者の方たちへの配慮はなされるのか。 2. 下水道について 2 2年度の整備によって普及率何パーセントを目指されるのか。	市長	
5. 人材育成都市の創造から	教育運営システムの充実について 0歳児から、一貫した保育・教育のあり方を検討されるとされています。子どもたちの様々な課題についての見解を伺います。	市長	
6. 平成22年度当初予算の概要から	緊急経済対策（新築戸建持家住宅取得支援）について 地域経済の活性化や一層の定住促進をはかるため、新築戸建持家住宅取得に係る固定資産税の負担軽減を制度化されます。住宅政策として大変効果のある事業であると考えますが、個人の取得意欲をさらに促進するため、住宅リフォーム助成事業同様に住宅新築助成事業の考えについて伺う。	市長	

質問者	28 市民新風会 多久和 康 司
-----	------------------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 斐川町との合併について	斐川町民の住民発議による法定合併協議会設置に向けた手続きがなされたところであり市長の考えを伺う。	市長	

<p>2. 住民参加型システムの構築について</p>	<p>1. 行政が先頭に立って旗を振って進める時代ではないと考えておられる事について まちづくりを進めるに当たって市民の信頼や納得、協力を得ることが必要であるのは当然です。ただ、市民が主役であることはまちがいありませんが、市長がまちづくりのビジョンを示すべきであり、それを市民が理解して協力して進めることであると思うが市長の考え方を伺う。</p> <p>2. 今一度市民・議会・行政の役割と権利、義務を見つめ直し再確認する必要があるとのことについて 自治体運営の基本原則を定めた、自治基本条例の制定を考え、有識者や公募の市民に参加とあるが、公募された市民を全て参加してもらうのかどうか、選定はどのようにしてされるのか。又、市民が主役のまちづくりのための役割を明記して実効性のあるものにしていかれるのか市長の考えを伺う。</p>	<p>市 長</p>	
<p>3. 財政の健全化について</p>	<p>ゼロベース評価委員会（仮称）の位置づけと役割について</p> <p>①公募する場合は公平、公正な人を選ぶべきと思いますが公募があればどのような選び方をされるのか。</p> <p>②評価委員会のメンバー構成、人員等は。</p> <p>③評価委員会の役割等は。</p> <p>④広く検証、評価をいただき、その結果、内容について市民への説明責任を果たすとあるがどのようにやっていかれるのか。</p>	<p>市 長</p>	
<p>4. 産業の振興について</p>	<p>1. 看護師不足解消と若者の定住について 島根県立大学短期大学部出雲キャンパスが、4年制大学になるように聞いていますが、看護師不足を解消する為には3年で看護師を取得した人材の活用を望まれています。どうした取り組みをされるのか。また若者の定住をめざす取り組みについても伺う。</p> <p>2. 産業都市の創造について 東アジアを中心に海外も視野に入れた販路の開拓をどのようにして取り組まれるのか。</p>	<p>市 長</p>	

5. 出雲神話観光大国の創造について	<p>観光情報発信の強化について</p> <p>山陰道の無料化にともない、観光客が車で来られる事が多くなると思います。国、県や関係する自治体はもちろん、関係諸団体との連携を密接にしていく必要がある。観光協会の支援策や取り組みについて伺う。</p>	市長	
6. 環境先進都市の創造について	<p>地球温暖化防止の取り組みについて</p> <p>小さい子どもの頃から環境教育が必要と思いますがどのような取り組みかを伺う。</p> <p>例えば菜の花を子どもたちも参加して栽培して菜種油を収穫し、その油を給食センターで使い、廃食油を公用車で利用するといった取り組みも考えられる。</p>	市長	
7. 人材育成都市の創造について	<p>1. 教育運営システムの充実について</p> <p>小中一貫教育、保幼小一貫教育による発達段階を踏まえた教育の推進の取り組みをどうしていかれるのか伺う。</p> <p>2. 学校教育の充実について</p> <p>①「心の教育」の充実 = 「生命を考える教育」の取り組みは</p> <p>②特別支援教育推進委員会の概要と役割について</p> <p>③スクールヘルパーの増員と学校支援体制の強化について</p> <p>3. 生涯学習について</p> <p>まちづくりにつながる人材育成とはどんな人材の育成か。また、人材の活用をどうされていくのか。</p> <p>4. 青少年育成について</p> <p>社会生活を営む上での困難を有する子ども、若者を支援するためのネットワーク整備とはどんなことか伺う。</p> <p>5. 文化スポーツの充実について</p> <p>①芸術文化振興への取り組みについて</p> <p>②スポーツ振興について</p>	市長	

8. 健康文化都市の創造について	<p>将来にわたって安定的な病院事業を継続していくために 県内における医師不足や国における医療制度改革の流れの中で、 今の時点においては、独法化を急ぐべきではないと思います。</p> <p>i) 地域医療を守ること ii) 医師・看護師をはじめとするマン パワーの確保を優先すべきと思うが、取り組みや見返しなどを伺 う。</p>	市 長	
------------------	--	-----	--

質 問 者	23 公 明 党 勝 部 順 子
-------	------------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 財政の健全化	<p>1. 平成22年度当初予算の編成について</p> <p>①全ての事業について、ゼロベースを基本に、市民の目線に立っ た、真に必要な事業の予算化への転換について</p> <p>②市が関与すべきでないと言われた事業内容</p> <p>③費用に見合った効果が出ていなかった事業内容</p> <p>④22年度予算に反映された成果</p> <p>2. 「ゼロベース評価委員会（仮称）」について</p> <p>①メンバーについて、有識者や、市民からの公募委員を含むとさ れているがどのような体制を考えておられるのか。委員の選考 基準など、十分な検討をして取り組んでいただきたい。市の各 種審議会委員などとの兼職は、極力避けるべきと考えます。</p> <p>②事業仕分けの視点も含んだゼロベース評価を進めるため、評価 委員会の設置をするとされています。委員会の責務は重要にな ると思われませんが、委員会の役割についてどのようにお考えで しょうか。</p>	市 長	
2. 生涯にわたる健康づ くりの推進について	<p>1. 一般不妊治療費の助成制度の創設について</p> <p>①市内の対象者を、どの程度見込まれているのか。助成の方式な ど事業の詳細を伺います。</p> <p>②対象の方への周知について</p> <p>2. 乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン事業の検証と継続につい て</p>	市 長	

	<p>①乳がん・子宮頸がんの年齢別対象者と受診者の実績 ②従来年度と比較して受診率の変化。年齢別の傾向。 ③国が目指している、がん検診の受診率50%に対する市の取り組み、今回の無料クーポンの関連。 ④新年度は国が予算を半分にしたために、自治体の負担があることに対する考えと、事業継続に対する考えを伺います。</p> <p>3. 子宮頸がんの予防に効果のある、ワクチンの公費助成について市の考えを伺う</p> <p>近年若い女性の子宮頸がんが急増し、毎年1万人以上の方がこの病気で苦しんでいます。子宮頸がんはウイルスによって感染します。子宮頸がん対策は、海外では100カ国以上で予防ワクチンが承認され、大きな効果を上げています。日本では昨年12月にやっと販売が開始され、10歳以上の女性に予防接種が可能となりました。子宮頸がんは予防できる唯一のがんです。女性の誰もが平等に予防接種が受けられるように公費助成が待たれます。女性の健康を守るために、子宮頸がん予防ワクチンへの公費助成を表明する自治体が、全国に広がっています。</p>		
<p>3. 福祉・高齢者サービスの充実</p>	<p>1. 「老老介護事業」について 事業の詳細と、今後の取り組みについて伺います。 2. 「高齢者福祉タクシー利用券交付事業」について 事業の詳細を伺います。</p>	<p>市長</p>	
<p>4. 出雲市立総合医療センターの運営形態について</p>	<p>1. 運営形態について、検討されているのか伺います。 2. 先進地の事例なども、学ばれているのでしょうか。 3. 決定されるのは、いつ頃なのか考えを伺います。</p>	<p>市長</p>	
<p>5. 看護系専門学校の誘致について</p>	<p>看護師不足解消と若者の定住をめざし、看護系専門学校の誘致に取り組むとされています。看護師不足は、重要な問題で解消のための施策が急がれるところです。具体的にどのような誘致活動をされるのでしょうか。担当はどこがされるのでしょうか。詳細について伺います。</p>	<p>市長</p>	